

A União Soviética foi expulsa da Sociedade das Nações

第二十四回 聯盟總會終了

ソ聯除名 各國の反響聞く

(ジュネーブ十四日同盟日本) 聯盟は十四日の總會並に理事會に於て遂にソ聯除名を決定したが、ジュネーブに於ける各國代表のこれに對する反響は夫々の立場を如實に反映してまち／＼であるが、これを綜

英軍の死者二千名

前大戰同期間には

ダエユーブ地の
の關心しんを示し
シスト黨しんとう評議ひょうぎ
眞相しんさうを探れば

[illegible]

あ
の
世

ら
の
る
世

は從來交際もなかつたので、故に
戒名に寺僧「阿ハタと書く
、何でも僕一人だから嫌さ
に」と分別、大僧正諡んで
を執り、剛院殿利親居士
認めて大僧の本邸に掛けた
の諡聞では友人家の子弟
が寄合つてゐたが願ふ、此
名を懸しながら首をひねつ

吉とお父さんは村の役所主
は謙のシヤンペをカマシに
間違へ、不都合にもカマ吉に
してしまつた、この間ひが
未來次助名の中にで、存続
することは決して故人の遺志
はあるな
みんな生懸念に文字を組
合せて見や、謙院殿 略略
道親英因居士はどうかあらう

で御覧さんごらん、顔をして
この戒名を見てゐるかなキツ
と何、虹くニヤハ笑つて
ます」「さういひは各務謙
親居士はチトをかい、ニ
その縁に名取和君ヲバを
ゴリとのんや直上つた
、各務君各務君、それらの
人はないぞ、けれども金に
も名懸、謙院殿にも控
へ目の謙親の人があるかど
と、謙院殿

衆院各派代表招く

東京十五日聞、日本へ青木相は十五日午後十一時、衆議院代表を官邸に招待し、豫算案を指示した。青木相は左の如き挨拶を行つた。

「豫算の編成」

五年度一億二千餘萬圓の一歳一億二千餘萬圓の一歳一億四千三百余万円、歳入増徴費に充てられ、八十九百余万円を生ずる経費八千九百余万圓、一千四百余万円、買戻金及び海運の振込に關する経費七十七百十萬圓、船舶航路振興に關する經費一千五百余万円、郵政振興に關する經費二千二百余万円、十一月下旬に四億余円、本年三月以前迄の公債發行額は二十五億三千余万円となつてゐるが、これに對して消化額は十三億現存四十二億三千余万円に達し、消化率八十四パーセントとなる。

（花）

日北通商關係と金寸中

米當局的局策準備

【ワシントン十四日電】米國政府の商務、陸省は十日日米通商條約改訂の準備として、日本・フィリピン通商關係の陸性を檢討中であると言明した。右は従来通商條約改訂の第一歩と見られてゐた。

日比通商關係を檢討中

新規經費

主なる新規經費

東京十五日同盟日本青木
 樞は十五日勸業議員各派
 表を官邸に招き、明年度
 經費を内示したが、明年度
 規經費中主なるものは左
 である

聯三個聯隊を殲滅

イソランド中央部が戦線に
おいて、聯軍三師団を破
しめた、フィンランド軍は更
にトルビヤルイシを(町)奪
取したが、その際、聯軍戦車
十一台と大砲四門を破獲した

豫備金支出

なくされてゐる

日本製粉會社

一割配當措置

【東京十五日同盟日本】日本

閣議で決

【東京十五日同盟日本】は十五日の閣議で左の第一備金支拂を決定した（第一

は元々
した。
が校
縣

[illegible]

馬

(三十)

三つの運命(八)

「さんじゅくうちに、博史の
はだんだん鋭い眼を帯び
きた。紙の上にインキの飛
びつたものが壁つてゐるこ
ろまで、餘程急いで書いた
めらしい。」

「一見さん、僕は困つたよ
ななとも思ひました。何れ
もこの時藤田が氣で死んで
た。」

上で僕の立場を解しようと思つたのです。此處で僕があ
の限りの事を言つまつたの
では彼らに人を陥れる結果
になると考へたからです。僕
がつて、藤田の罪科まで一人
で引受けるわけにはゆきませ
んからね。

それから、校務室を出て長
い廊下を駈け戻す方へ長い
こと。(ああその時の氣も

「おお猪狩君！」
と言つて僕に飛つて

男があらびます。彼が吃驚して「鰐をあげると權でござんす、彼はよほど前からさくさくするのを待つてゐたから出でくるのを待つてゐたから」といふ様子で指した。「ねえ君！」
彼はさう言つたと思ふと、

手紙は、
二美が書
一美を引
つゝるやうにして

この手紙は確かに僕が書いたものにちがひありません。僕は唯、書いたといふその責任を負ふだけで、この道徳の弊で、僕らは壁の上

暗礁に衝突、轉

トツタへ(即)遺失一百	船となつて紀体の上に夜	直ちに遺者を歸郷、御宿舎	備はせられたる御宿舎
西暦西暦十四日割置日本	氣と亂と恐怖に戰ふ、救助	に致す、手取り登陸を賜へ	ただだ
西暦西暦十四日割置日本	を呼ぶためる船數三百九十五	ある人生存者は船に三百	たの
西暦西暦十四日割置日本	人を一男三十三四三三の女	九十五名を、岸側船に三百	君
西暦西暦十四日割置日本	子丹色、子供十二名、流死	着して救された七名あり	



邦人數實に事變前の六倍

財閥も離反へ！

の切れ目の抗戦陣」
國府・没落運命極る

の香港金融會議に於いても假
等の手持資金を調査されるの
り、次第に反戦の
つゝある、一方

やまと號台北安着

【臺北十五日同盟日本】輝く使命を果して日タイ親善機やまと號は十五日午後零時四十四分臺北に安着した、因にやまと號は、毎日、日日社の世界一周機ニッポン號の姉妹機である

蔣茫然無策

香港十四日同戦日本地方實力派によつて舉げられた反抗の烽火は日と共に熾烈化しつつあり轉介口は今や國共兩部の關係調整は固より、懸案の行政院改組問題に就いてもは、ヘキ缶と龍雲の國民黨改組共產黨の入閣の對立電によつて阻止され、これに續く廣西神領の廣西の中化反對通電は重慶の雲龍に對する意氣に昂まらず、西南兩派の中、



宣傳的冬季攻勢

「支那軍健在」に内外へ喚く

（漢口）十四日同盟日本新聞記者は最近迄も冬季攻勢を
汪兆銘による新中央政府樹立の切迫、國共相創設化、
惡化に臨み、蘇聯の駐に於る使者、難い意圖に續
内外に宣傳する必要に迫らるゝことを宣傳戰を開始
李攻勢、四月攻勢と主眼を一新し、匪軍蘇聯は何れ
うした程のものに過ぎない、密つて軍部駐は可成
劉景斌など遺留の奸細となつて寒害の野に風をさら

各地で全敗の憂目

〔上海十三日同盟日本〕支那軍は最近又冬季攻勢を企圖し、中支戰線に亘り運動を開始しつつあるが、その裝備は極めて悪く、武器食糧共に不十分であり、我々が退へ撃つこととなり、左の如く攻勢の企圖空しく全敗の憂日を喫してゐる。

新中央政權と法幣問題

現行制度を撤廢し

統一通貨創設の要

日華日報力説す

（上海十四日新聞日本）新中
央政府成立を聞くと際へ、汪
兆銘一語が法蘭西駐劄を如何に
處理するに於ては各方配より注目
されてゐるが、十四日の日曜
日報は從來の如きを破つて初
め法蘭西駐劄に關する見
解を表明し、現行法蘭西に對する
すべからざる所以を指摘し

て統一運貨條約の必要を説い
た、その要旨を左に略す。然し
、法蘭西は英米露のシンボ
ルである、法蘭西制度が確立
した日は即ち中歐が那地に
歸する未來を豫定した日であ
るに歸せしめた日である。然
し英米露條約からの關係
は極度に成るが英米露の勢力
が相對立して居る現況に於

て、野郎政府が法蘭西衰落を防
止するに於ては、故にそれは傳
説となればならず、然し中
歐に増徴したの故、中歐
の既存條約關係は單條

血迷ふた後方攪亂策

郵便物を片ツ端から開封
複寫して逐一重慶へ報告

海上郵政管理局
惡種巴士行為暴露

部の秘密命令を受
買収費として重慶政府から手
交された二十萬元を以て直接

第七次中華民國
政府聯合委員會
豫備會議

米國の對華援助は期待薄と見て、何れも辭退して歸り、これ等支那金融界の離反動向は強めの注すべきものがある

【北京十五日同盟日本】第七次中華民國政府聯合委員會は十五日午前十時から開能、強會議に入つた

時政府王克敏、維新政府張作霖、

Um belo presente :
UMA **CAMISA** DA

CASA
KOSMOS

何にも勝る御進物です！

帽子専門店
として一番大きく
信用のある

聖市キンチーノ・ボカユール街二六
シヤペラリア
パウリストー

聖市内住宅地ロッテ分譲

位置
サントアマロ電車ビラエレナ停留所
總面積
四十四ロタ
五
形
一五三
メ
ト
レ
方

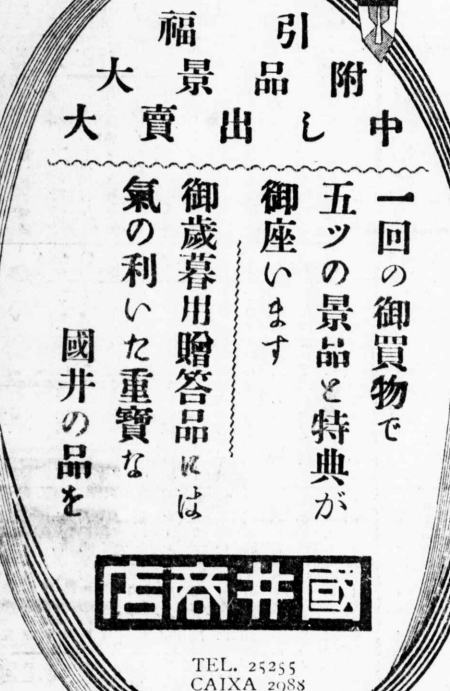
賣價　メートル平が三十五ミル

◇ピラパンデランテス分譲地

位置 電車フアブリカ終點より十五分サシベルナ
下乗合通過
總面積 九十ロツテ
區劃 一區四百メートル平方
賣價 メートル十四ミルより十八ミル
土地代金は年賦月賦の便法あり

松岡 静二

Rua Odorico Mendes, 3 sob. São Paulo



 福 引

 大 景 品 附

 大 賣 出 し 中

 一回の御買物で

 五ツの景品と特典が

 御座います

 御歳暮用贈答品には

 氣の利いた重寶な

 國井の品を

店商井國

 TEL. 25255

 CAIXA 2088

 S. PAULO

新着圖書目錄

一九三九年十二月

著者		定價	
歐洲の内幕	大江 專一	一、二六〇	〇〇
支那の内幕	日新 眞一	一、一七〇	〇〇
支那の内幕	山田 康夫	一、一五〇	〇〇
支那の内幕	米内 忠太郎	一、一三〇	〇〇
支那の内幕	後 莊四郎	一、一〇〇	〇〇
支那の内幕	柳 池寛	一、〇八〇	〇〇
支那の内幕	室伏 高信	一、〇六〇	〇〇
支那の内幕	三上 正敏	一、〇四〇	〇〇
支那の内幕	野口 昂	一、〇二〇	〇〇
支那の内幕	小水 一房	一、〇〇〇	〇〇
支那の内幕	謝 永光	九、八〇	〇〇
支那の内幕	牧 野 松	九、六〇	〇〇
支那の内幕	岡 本 栄	九、四〇	〇〇
支那の内幕	横 谷 光	九、二〇	〇〇
支那の内幕	井 伏 谷 光	九、〇〇	〇〇
支那の内幕	片岡 健	八、八〇	〇〇
支那の内幕	岸 田 良	八、六〇	〇〇
支那の内幕	富 澤 良	八、四〇	〇〇
支那の内幕	尾 崎 士郎	八、二〇	〇〇
支那の内幕	深 田 久	八、〇〇	〇〇
支那の内幕	石 川 三	七、八〇	〇〇
支那の内幕	林 義 郎	七、六〇	〇〇
支那の内幕	石 井 佛	七、四〇	〇〇
支那の内幕	高 橋 安	七、二〇	〇〇
支那の内幕	大 鹿 順	七、〇〇	〇〇
支那の内幕	高 橋 順	六、八〇	〇〇
支那の内幕	高 橋 順	六、六〇	〇〇
支那の内幕	高 橋 順	六、四〇	〇〇
支那の内幕	高 橋 順	六、二〇	〇〇
支那の内幕	高 橋 順	六、〇〇	〇〇
支那の内幕	高 橋 順	五、八〇	〇〇
支那の内幕	高 橋 順	五、六〇	〇〇
支那の内幕	高 橋 順	五、四〇	〇〇
支那の内幕	高 橋 順	五、二〇	〇〇
支那の内幕	高 橋 順	五、〇〇	〇〇
支那の内幕	高 橋 順	四、八〇	〇〇
支那の内幕	高 橋 順	四、六〇	〇〇
支那の内幕	高 橋 順	四、四〇	〇〇
支那の内幕	高 橋 順	四、二〇	〇〇
支那の内幕	高 橋 順	四、〇〇	〇〇
支那の内幕	高 橋 順	三、八〇	〇〇
支那の内幕	高 橋 順	三、六〇	〇〇
支那の内幕	高 橋 順	三、四〇	〇〇
支那の内幕	高 橋 順	三、二〇	〇〇
支那の内幕	高 橋 順	三、〇〇	〇〇
支那の内幕	高 橋 順	二、八〇	〇〇
支那の内幕	高 橋 順	二、六〇	〇〇
支那の内幕	高 橋 順	二、四〇	〇〇
支那の内幕	高 橋 順	二、二〇	〇〇
支那の内幕	高 橋 順	二、〇〇	〇〇
支那の内幕	高 橋 順	一、八〇	〇〇
支那の内幕	高 橋 順	一、六〇	〇〇
支那の内幕	高 橋 順	一、四〇	〇〇
支那の内幕	高 橋 順	一、二〇	〇〇
支那の内幕	高 橋 順	一、〇〇	〇〇
支那の内幕	高 橋 順	〇、八〇	〇〇
支那の内幕	高 橋 順	〇、六〇	〇〇
支那の内幕	高 橋 順	〇、四〇	〇〇
支那の内幕	高 橋 順	〇、二〇	〇〇
支那の内幕	高 橋 順	〇、〇〇	〇〇

